

東京学芸大学 大森直樹研究室主催 公立中学等教員対象

中学の標準時数の変遷についてのアンケート 回答ご協力依頼

公立中学等教員のみなさま

東京学芸大学の森直樹です。公立中学校・中等教育学校（前期）・義務教育学校（後期）のみなさまのお力を得て標準時数の変遷についての研究をすすめてく、このご依頼を差し上げております。

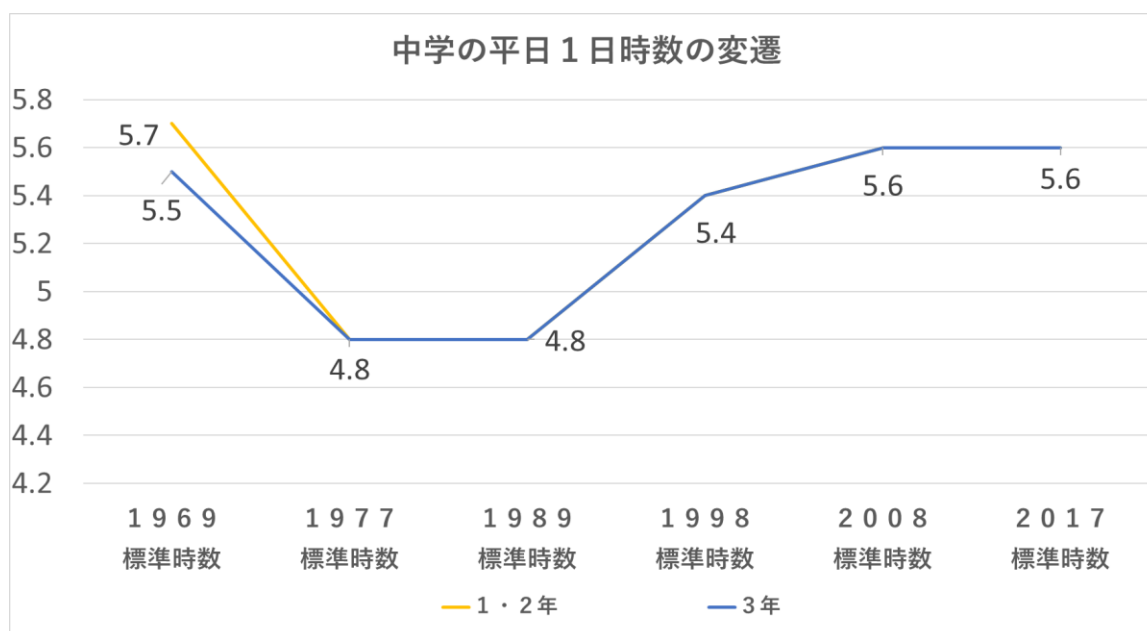
中学等の教育課程、とくにその授業時数は、国が定めた標準時数（教育課程基準の1つ）にもとづき各校が定めています。平日1日あたりの標準時数は、下記の図のように変遷してきました。各期の標準時数下の教育課程について、公立中学等教員の方々に、経験にもとづく感想をいただき、今後の教育課程基準のあり方の改善に活かすことが本アンケートの目的です。回答は匿名で集計され、所要時間は2～6分です。よろしくお願いたします。

アンケートフォームはこちらから↓



<https://forms.gle/93kzuTjxy9H3b64U7>

- ・スマートフォン・タブレット等から回答可能です。
- ・回答は匿名で集計され、所用時間は2～6分です
- ・回答締め切り：2024年9月8日



- ・平日1日の標準時数は、週6日の1969・1977・1989期は「週標準時数－4（土曜の時数）÷5日」で算出し、週5日の1998・2008・2017期は「週標準時数÷5日」で算出した
- ・週標準時数は「年標準時数÷35週」で算出した
- ・その年標準時数は特別活動の標準時数を差し引いた値を用いた（各期で特別活動のカウントが異なるため）
- ・1989標準時数の特別活動は35～70時間の幅があるが70時間を差し引いた
- ・1977標準時数より1・2年と3年は平日1日時数が同じ

このアンケートおよび調査は、一般財団法人教育文化総合研究所が協力しています。

お問合せ TEL 03-3230-0564 / メールフォーム <https://www.k-soken.gr.jp/pages/3/>